

歯科矯正学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Yamaoka S, Hamanaka R, Nguyen Anh T, Jinnai S, Tominaga J, Koga Y, Yoshida N: A novel and simple design of the closing loop producing optimal force magnitude and moment-to-force ratio for en-masse retraction of anterior teeth. *Orthodontic Waves* 79(2 3): 65-78, 2020. (IF: 0.2)
2. Morita Y, Koga Y, Nguyen TA, Yoshida N: Biomechanical considerations for uprighting impacted mandibular molars. *Korean J Orthod* 50(4): 268-277, 2020. doi: 10.4041/kjod.2020.50.4.268. (IF: 1.476)
3. Karanxha L, Rossi D, Hamanaka R, Gianni A, Baj A, Moon W, Fabbro M, Romano M: Accuracy of splint vs splintless technique for virtually planned orthognathic surgery. *J Craniomaxillofac Surg* 25(S1010-5182(20)30244-4): 2020. (IF: 2.078)
4. Rokutanda S, Yamada S, Yanamoto S, Sakamoto H, Furukawa K, Rokutanda H, Yoshimi T, Nakamura T, Morita Y, Yoshida N, Umeda M: Anterior relapse or posterior drift after intraoral vertical ramus osteotomy. *Sci Rep* 10(1): 3858, 2020. doi: 10.1038/s41598-020-60838-1. (IF: 3.998)
5. Ohba S, Tominaga J, Koga T, Miura K, Yoshida N, Yamaoka S, Asahina I: Movement of the proximal segment after intraoral vertical ramus osteotomy versus short lingual osteotomy with physiological positioning strategy. *J Craniomaxillofac Surg* 48(7): 638-644, 2020. doi: 10.1016/j.jcms.2020.04.006. (IF: 2.03)

B 邦文

B-a

1. 吉見知子, 古賀義之, 吉田教明: 歯科矯正用アンカースクリューとトランスパラタルアーチを併用した大白歯圧下メカニクスの応用. *九州矯正歯科学会雑誌* Vol.16(1): 43-52, 2020.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	7	1	0	4

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会理事	日本矯正歯科学会
吉田教明・教授	日本顎口腔機能学会理事	日本顎口腔機能学会
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会国際渉外委員会委員	日本矯正歯科学会
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会管理指導医委員会委員	日本矯正歯科学会
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会9th IOC 2020大会実行委員会委員	日本矯正歯科学会
吉田教明・教授	九州矯正歯科学会会長	九州矯正歯科学会
吉田教明・教授	日本顎変形症学会評議員	日本顎変形症学会
吉田教明・教授	日本矯正歯科学会代議員	日本矯正歯科学会
佛坂斉社・准教授	九州矯正歯科学会評議員	九州矯正歯科学会
佛坂斉社・准教授	日本矯正歯科学会倫理・裁定委員会審査委員	日本矯正歯科学会
古賀義之・講師	日本矯正歯科学会代議員	日本矯正歯科学会
古賀義之・講師	九州矯正歯科学会評議員	九州矯正歯科学会

古賀義之・講師	九州矯正歯科学会学術委員	九州矯正歯科学会
富永淳也・助教	日本矯正歯科学会臨床・疫学研究倫理審査委員会委員	日本矯正歯科学会
富永淳也・助教	九州矯正歯科学会IT委員	九州矯正歯科学会
富永淳也・助教	九州矯正歯科学会雑誌編集委員	九州矯正歯科学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
吉田教明・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「軟食化と神経伝達異常が咀嚼・嚥下機能に及ぼす影響の解明とオーラルフレイル予防戦略」
佛坂斉社・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「歯根吸収発症における細胞内小器官分解機構を有する12/15-LOXの関与」
佛坂斉社・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「歯根吸収抑制剤におけるcPLA2の役割-硝子様変性と破歯細胞活性を標的として-」
丸山陽市・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「個人識別に最適化する歯式マトリックスと深層学習による個人識別に関する基礎的研究」
古賀義之・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「人工知能(AI)を利用した顎顔面の成長予測技術の開発」
森田幸子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「分子イメージングを用いて力と骨代謝の関係を究明し矯正力を最適化する」
藤下あゆみ・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B)「顎口腔機能低下モデルを用いた若年層からの包括的オーラルフレイル予防戦略の検討」
吉見知子・医員	日本学術振興会	代表	若手研究(B)「成育期における咀嚼・嚥下機能発達と顎顔面形態成長の相互制御機構の解明」
小原 悠・客員研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「神経ペプチド・オキシトシンが破骨細胞および矯正学的歯の移動に与える影響の解明」
藤村裕治・客員研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「低用量ピル(エストロゲンおよびプロゲステロン)は矯正力による歯の移動を妨げるか?」
橋本 恵・客員研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「硝子様変性と破歯細胞活性を標的にしたHIF-1 α 阻害による歯根吸収抑制機構の解明」
檜原春奈・客員研究員	日本学術振興会	代表	若手研究(B)「破骨細胞における細胞骨格を制御する新規因子の同定とその分子基盤の解明」
近藤崇伸・客員研究員	日本学術振興会	代表	若手研究(B)「骨リモデリングの最適化アルゴリズムを組み込んだ長期的な歯の移動の可視化と移動予測」

その他

特筆すべき事項

…森田幸子、吉田教明：日本口唇口蓋裂協会会報Q&Aコーナー：口唇口蓋裂の子どもたちの矯正治療について
お教えください「口唇口蓋裂の子どもたちの矯正治療」